

# ご支援ありがとうございました！

過去に実施した一口100万円プロジェクトのご報告

## スーダンにおける教育支援（2022年春募集） 「子どもの教育と女の子を古い慣習から守るプロジェクト」



長きにわたる南北の内線と国内紛争による戦禍により社会基盤が破壊され、基本的なインフラが未整備なスーダン。教育においても、子どもたちは老朽化した施設を使い続けていました。また、女の子への教育の重要性についての知識・理解が不足しているため、女の子が学校に通い続けることを難しくし、FGM（女性性器切除）や早すぎる結婚も女の子たちを取り巻く課題でした。



以前の教室



教室外観

## 安心して安全な教室で学ぶ環境を整える

教室の建設に加え、女の子たちがジェンダーに配慮した安全な環境で教育を受けられるよう、女性性器切除（FGM）や早すぎる結婚の防止の啓発トレーニングを行いました。



### 成果 1

## 小学校の教室と教員室、男女別トイレの建設



新しい教室



男女別トイレ



アムシャさん  
12歳 児童

「トイレを建設していただきありがとうございます。トイレに行きたいときはいつも家に帰っていたので、次の授業に間に合いませんでした。これからはすべての授業に出られます」

### 成果 2

小学校教師 **27**人と PTA **31**人が、  
ジェンダー平等のトレーニングを受けました



ムタシムさん  
PTA メンバー

「FGMや早すぎる結婚がおよぼす負の影響について学びました。地域で協力してこれらの古い慣習をなくしていかなければならないと思っています。また、子どもの権利、子どもを性的虐待や社会的な搾取から守る方法についても学んだので、地域で子どもを保護する活動に活かしていきたいです」



小学校教師たち

保護者、コミュニティ・リーダー、  
地域住民の **1,094** 人が  
女性性器切除（FGM）や早すぎる結婚の問題、  
女子教育の重要性についてのトレーニングを受けました



アブダラさん  
コミュニティ・リーダー

「女子教育の重要性についてよく理解できました。私のコミュニティで、娘3人を中途退学させた保護者がいましたが、PTAと協力し、娘たちに勉強を続けさせるよう保護者を説得しました。彼女たちは学校に戻ることができ、無事に卒業することができまし

た。これは、女の子たちが教育を続けることができた良い事例です。また、FGMの施術をしないことを決意した女の子10人がいるので、彼女たちをロールモデルとして、FGMの根絶を広めていきたいです」



地域住民へのトレーニング

思春期の女の子 **221** 人に  
石けん、生理用ナプキン、下着などの  
月経衛生管理キットを配布



月経衛生管理キットの配布



illustration by Noriyuki Goto

### ご支援者の声

報告書の写真がわかりやすくよかったです。スーダン全体から見たら米粒ひとつの出来事かもしれませんが、教室が長く使われることを願っています。  
(茨城県 H・K様)

昨今どのお金が使われているのかよくわからないなか、プランは報告をしてくれるので本当に安心して寄付できます  
(東京都 R・N様)

経過報告も含め丁寧に進めていただいたのはよかったです。報告書の子どもたちの笑顔がうれしいです  
(大阪府 S・M様)

**短期間に高額な資金で実施する支援は  
目に見える大きな変化をコミュニティにもたらし、  
地域開発支援の効果を加速します。**



記念プレート